

県 広 報

とやま

特集/ ~皇太子同妃両殿下ご来県~

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



11

1996 No.334

INTERVIEW

ひとアズとやま

親しみやすい番組づくりを

北日本放送(株)制作部 永井宏子さん



「この番組に携わってから、いろんな事に心が持てるようになりました」と語るのは、県提供番組「こんにちは富山県です」のキャスターとして五年余りにわたり活躍してきた北日本放送の永井宏子さん。

永井さんが放送業界に興味を持ったのは、東京での学生時代。「広告研究会というサークルで、イベントの企画やコーポラルフィルムの制作などを行っていました。また、実際に放送局での番組づくりにも触れ、なかなか面白そうだと感じたんです。帰郷後、アナウンサーとしてKNBに入社。テレビでの初仕事は『ビバ！クイズ(S49年〜H5年)』の出题者役でした。「あの番組にはいろんな思い出があります。子どもたちの珍回答にお腹がよじれて問題が読めなくなったり……。司会の方には随分フォローしてもらいましたね。また、『テレビでじゃま』(S60年〜H3年)では、気さくな笑顔でお茶の間に楽しい話題を振りまきました。

その後は、「こんにちは富山県です」のキャスターとして活躍。「県政は、一般視聴者にはなかなか関心のわかない分野です。どうやって興味を持ってもらえるかにエネルギーを注ぎましたね」。また、取材を通じて県民のパワーをひしひしと感じたという永井さん。「特に年配の方が、一時期のイメージからは想像できないくらい元気なんです。それから、若い人たちの間にも、何かをやるという気持ちが始まっています。頼もしさをおぼえました」。

さて、十月からは県教育委員会提供番組「小さな大きな明日の家族」(毎週日曜日午前9時)の制作ディレクターに転身し、新たな第一歩を踏み出した永井さん。「番組制作は学生の頃からの夢でした。『こんにちは』での経験を活かして、県民の皆さんが身近に感じてもらえるようなものにしていきますね」と意欲満々。ブラウン管から離れた永井さんが、今後どんな番組をつくっていくのか、その手腕に期待大です。

※「こんにちは富山県です」は、毎週日曜日午前11時から放送中。新キャスターは金田亜由美さんです。

11 CONTENTS

11月号もくじ

- 11月号もくじ
- とやま遊学感 / 富山県健康増進センター 表紙
- 撮影 / 赤羽仁諭(富山県写真家協会会員) 表2
- とやま遊学感 / 富山県健康増進センター 1
- ひとアズとやま / 北日本放送(株)制作部 永井宏子さん 2
- 特集 / 皇太子同妃両殿下ご来県 PINUPPTOYAMA 8
- 写真 / 松田 勉(富山県写真家協会会員) 詩 / 池田瑛子(富山現代詩人会会員) 第11回国民文化祭とやま'96を振り返る 10
- エッセイ / 長谷川総一郎(富山大学教授) 12
- トピックス / 青少年保護育成条例一部改正 14
- 県からのお知らせ 16
- 暮らしのアドバイス 13
- とやまの祭事記 / 磐持大会(新湊市寺塚原) 表3



▲ 何回できるかな? (体力測定)



▲ 動脈硬化などを発見 (眼底検査)



▼ 腹部の様子が手にとるように (腹部超音波検査)

健康チェックで元気発見

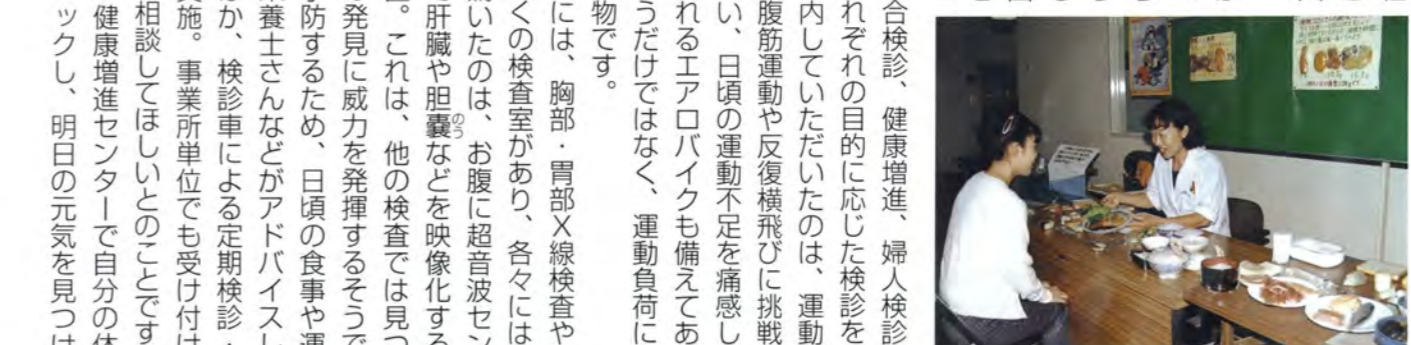
— 富山県健康増進センター —

レポーター: 加藤美鈴さん (高岡短期大学)

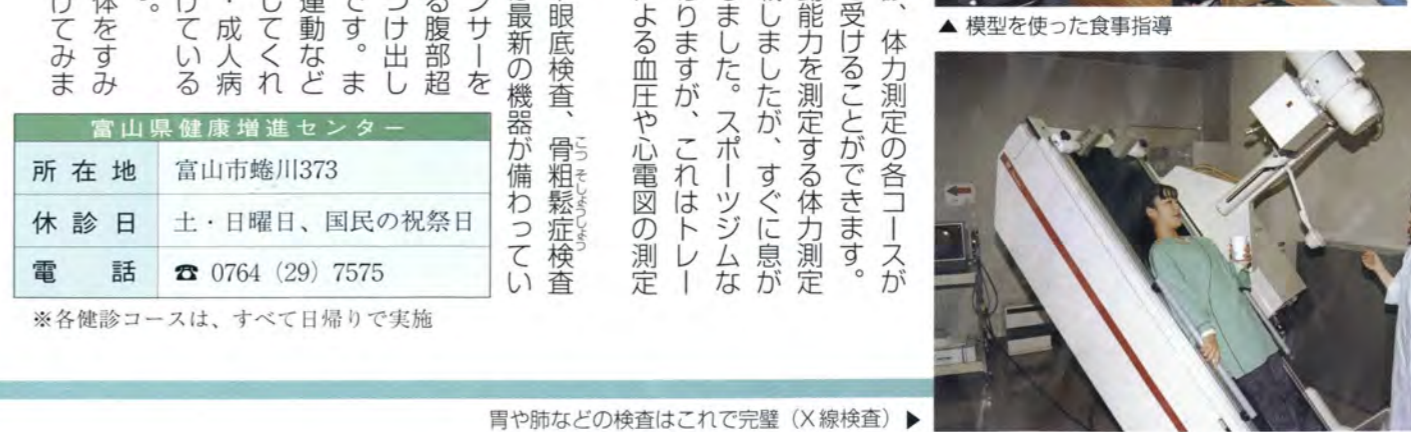
(表紙の人)

健康は、社会生活を営むうえで最も大切なものの一つ。今回私が訪れたのは、そんな私たちの健康づくりをお手伝いしてくれる富山県健康増進センターです。

ここでは、総合検診、健康増進、婦人検診、体力測定、各コースが用意され、それぞれの目的に応じた検診を受けることができます。私が入社内していただいたのは、運動能力を測定する体力測定室。さっそく腹筋運動や反復横飛びに挑戦しましたが、すぐに息があがってしまい、日頃の運動不足を痛感しました。スポーツジムなどでよく見られるエアロバイクも備えてありますが、これはトレーニング用というだけでなく、運動負荷による血圧や心電図の測定ができる優れ物です。



▲ 模型を使った食事指導



胃や肺などの検査はこれで完璧 (X線検査)

富山県健康増進センター	
所在地	富山市蛸川373
休診日	土・日曜日、国民の祝祭日
電話	☎ 0764 (29) 7575

※各健診コースは、すべて日帰りを実施

特集 《ようこそ富山県へ》 皇太子同妃両殿下へご来県



皇太子同妃両殿下は、「第11回国民文化祭とやま'96」にご臨場、併せて地方事情ご視察のため、九月二十八日（土）から九月三十日（月）までの三日間の日程でご来県されました。

二十八日午前、富山空港へご到着になった両殿下は、午後から平和通りでのオープニングパレードをご覧になった後、富山市芸術文化ホール（オーパード・ホール）で行われた開会式にご臨席になりました。式では、皇太子殿下から「県内各地で開催される催しにおいて、国の内外からの参加者相互に、そして参加者と地元の方々の間に交流の輪が広がり、メインテーマにふさわしい大絵巻が描かれることを願います」とお言葉が述べられました。続いて両殿下は、同ホールで華やかに繰り広げられたオープニングフェスティバルをご覧になりました。

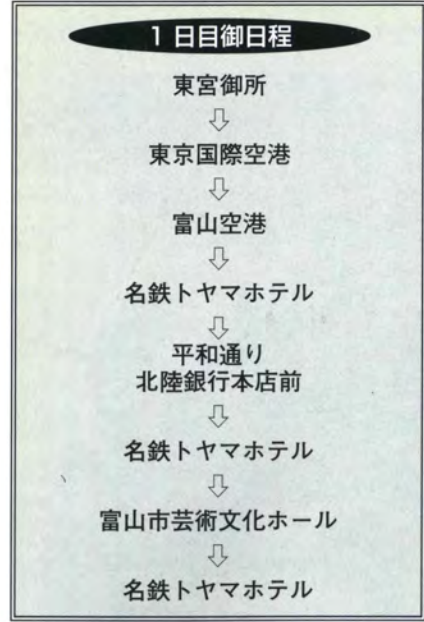
二十九日は、まず大島町絵本館をご訪問になり、創作しつけ絵本コンクールへの出展作品やジャンボしつけ絵本の制作風景などをご覧になりました。また、子どもたちが両殿下にコンピュータ・グラフィックスでつくった両殿下の似顔絵入りカレンダーをプレゼントするという微笑ましい一幕もありました。午後からは、福野文化創造センター（ヘリオス）でヤングミュージックフェスティバルをご覧になり、地元のスキャキ・ステイール・オーケストラの躍動感あふれる演奏などをお楽しみになりました。

三十日は、まず特別養護老人ホーム「富山市立慈光園」および児童養護施設「富山市立愛育園」をご視察。両殿下は、機能訓練やクラブ活動に励むお年寄りたちに優しくお声をかけられたほか、お年寄り子どもたちの交流の輪に加われ、あたりは和やかな雰囲気になりました。また、午後から訪問された新川文化ホールでは、富山ろう者劇団「おんによる座」の手話劇をご観賞。同ホールをお発ちになる前に、劇を終えた団員たちに「練習は大変でしょうが、これからも頑張ってください」と、励ましの言葉をかけられました。

ご滞在中の三日間、各ご視察先での県民の熱烈な歓迎に、終始笑顔で手を振っておこたえになっていた両殿下は、清々しい余韻を残され、中沖知事らが見送るなか空路富山を後にされました。



▲オープニングパレード観覧席にご到着



▲創作舞踊を演じる子どもたちに拍手を送られました。



▲「やっぱりおわらいいですね」とご感想を述べられました。

▲オープニングフェスティバルで
お言葉を述べられる皇太子殿下



▲富山市芸術文化ホールにご到着

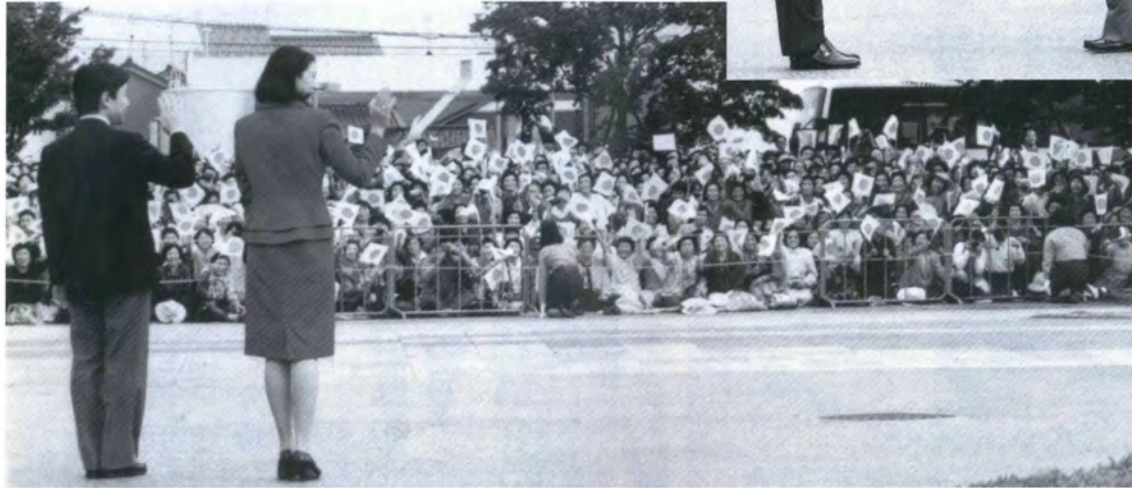


▲艶やかな日本舞踊などをご鑑賞になりました。

2日目御日程

名鉄トヤマホテル
↓
大島町絵本館
↓
ニチマ倶楽部
↓
福野文化創造センター
↓
名鉄トヤマホテル

▶福野文化創造センターにご到着



◀県民の熱烈な歓迎に手を振っておこたえになる両殿下



▶ヤングミュージックフェスティバルをご覧



◀スキヤキ・スタイル・オーケストラのメンバーからスティールドラムについての説明を受けられる両殿下



▶ジャンボしけ絵本の制作風景をご覧



▶大島町絵本館にご到着



◀絵本づくりワークショップをご覧



▶絵本づくりをする子どもたちに、優しくお声をかけられる両殿下

3日目御日程

名鉄トヤマホテル
↓
慈光園・愛育園
↓
東京第一ホテル魚津
↓
新川文化ホール
↓
富山空港
↓
東京国際空港
↓
東宮御所



◀ 新川文化ホールにご到着



◀ 富山国際演劇祭をご覧



◆ 富山を後にされる両殿下



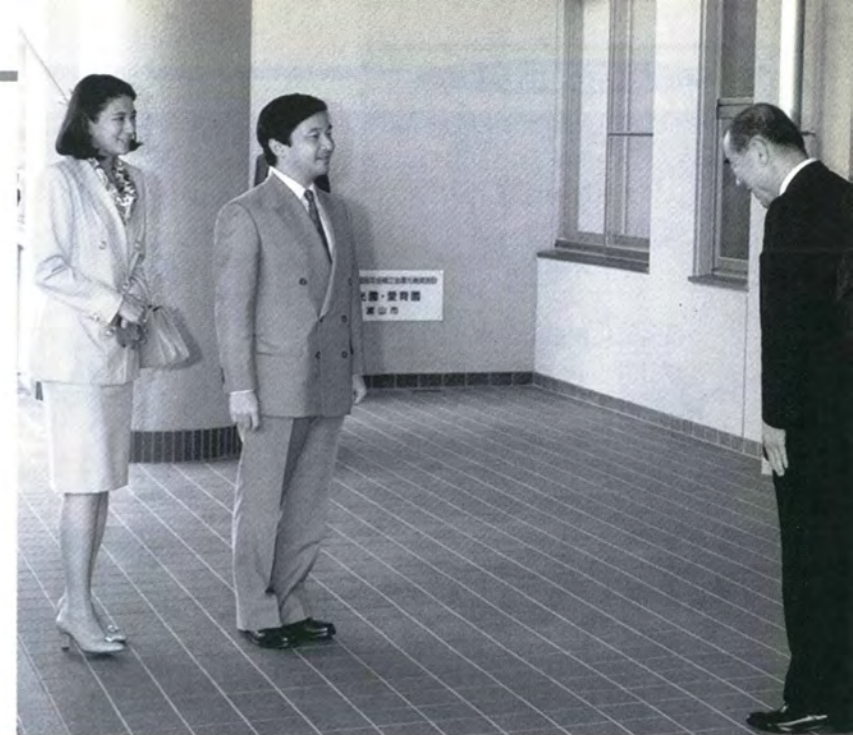
▲ ろう者劇団「おんによる座」の団員に労いの言葉をかけられました。



▲ 「いつまでもお元気で」の横断幕を掲げる園児たち



▲ お年寄りのクラブ活動状況をご覧



▲ 慈光園・愛育園にご到着



◆ お年寄り子どもたちの交流の輪に、にこやかに加わられた両殿下▲



PIN UP
TOYAMA
ピンナップとやま

撮影／松田 勉 詩／池田瑛子
写真プレゼントについては 16 ページ参照

ビルの窓々を切るように

夜あけのひこうき雲

ハドソン河がきらめいてすてきよ

忘れられない立山のおかえしに

お招きしたいわ 大成功なの

ニューヨークで個展を開催中の

日本画家加藤さんの弾んだ電話の声

室堂に泊まったのはおとしの秋

神秘に昏れてゆくみくりが池 雪の山々

初秋のマンハッタンで

あの日のままに夕映えているようだ

エルトン・ジョン 文学 歌舞伎を愛して

伝統的な日本の美を描く

魂のひそむ美しい線 透明な色

人々を夢の渚に立たせているだろう

あれはどんな挨拶だったのか

はじめて見る海へ

おーおーと駆け出した一歳の太希

たしかに海が応えていた

小さなわたしのよるこびも

波よ 運ぶのよ

ハドソン河のそそぐ海辺に

県内一円に繰り広げられたマンダラ大絵巻

第11回 国民文化祭とやま'96

「いのちとくらし-とやまマンダラ大絵巻」をテーマに、9月28日(土)から10月7日(月)までの10日間にわたって、第11回国民文化祭とやま'96が開催され、県内一円に様々な分野の事業が繰り広げられました。

期間中は、富山湾上フェスティバルや立山フェスティバル、となみ野お祭り一揆など、富山らしさを発揮した多彩なイベントを展開。出演団体は、国内から870団体、海外からは過去最高の27か国39団体、出演者数は総勢2万5千人を数えました。また、観客数は約74万人に上り、訪れた人々は自然に恵まれた富山で文化の秋を満喫しました。

若い感性が、ストリートファッションに花開く(創作ファッションショー クロスランドおやべ)

国内外の子どもの夢あふれる舞台(国際こども演劇祭 宇奈月国際会館)

砺波野に県内外の太鼓がこだまする(となみ野音楽絵巻「大地の鼓動」イオックス・アローザスキー場)

▲富山県舞舞協会による「雪の舞、時の舞」より(オープニングフェスティバル オーバード・ホール)



▲現代によみがえった「布橋灌頂会」(立山フェスティバル)
▼若々しいアンサンブルが響き渡る(閉会式グランドフィナーレ)



▲郷土色と国際色に彩られたパレード(オープニングパレード 富山市平和通り)



▲マストにはためくセールデザイン優秀作品(富山湾上フェスティバル)



▲名水の里・黒部で各茶道流派が一堂に(名水茶会 宮野運動公園)



滑川・立山・新湊の各会場を3元衛星中継で結んで展開したシンポジウム「自然との共生」(写真は滑川市民会館)

▲ダイナミックな演奏を繰り広げたスキヤキ・スティール・オーケストラ(ヤングミュージックフェスティバル 福野町ヘリオス)

▼国民文化祭旗は、次期開催県の香川県へ(閉会式グランドフィナーレ)





みんなで 青少年に よい環境を

青少年保護育成条例を一部改正

近年、テレホンクラブやツーショットダイヤルなどに関わり、性的被害を受ける青少年が急増しています。また、パソコンなどを利用した青少年によくないメディアの出現など、青少年の健全育成にとって憂慮すべき状況となっています。このような有害な環境や行為から青少年を保護するため、富山県青少年保護育成条例が改正されました。

改正の主なポイント

- ★ 有害図書や有害がん具類などの規制が強化されました。
・「図書等」の定義にCD・ROMなど新しいメディアを加え、有害図書等として指定できます。
・がん具類のうち一定のものについては、自動的に有害がん具類となります。
- ★ テレホンクラブ等営業が規制されました。
・テレホンクラブ等は、大学を除く学校、図書館、児童福祉施設、都市公園、病院の周囲200メートル以内の場所では営業できません。
・青少年に対し、利用カードを販売、交換、貸付け、贈与または頒布することができません。
・県下全域（青少年の入場が禁止されている場所の屋内を除く）で、利用カードを自動販売機に収納することができません。
・テレホンクラブ等営業者は、テレホンクラブ等を宣伝する印刷物や物品を青少年に配布できません。



★ 青少年に対する性的違反行為の罰則が強化されました。

・青少年へのみだらな性行為、わいせつな行為に対する罰則が、2年以下の懲役または100万円以下の罰金になりました（これまで1年以下の懲役または50万円以下の罰金）。

改正条例は、7月1日に施行されましたが、それだけで問題が解決するわけではありません。私たち一人ひとりが青少年の健全育成の重要性を認識し、家庭、地域社会、学校が力を合わせて青少年にとってよい環境づくりに取り組んでいきましょう。



地域文化見直しの時代

富山大学教授（美術科教育） 長谷川総一郎

話その一。一九八八年、私はハンガリー国際木彫刻シンポジウムに木工芸家川原和夫氏とともに参加した。シンポで川原氏はお地蔵様のレリーフを彫った。私はそのお地蔵様の由来などを、求められて英語で説明しようとしたが私の英語の拙さの貧弱さはもちろん、ともかく日本人の私がそもそもお地蔵様の意味について日本語でも十分答えられないという状況であった。自国の文化を自分の言葉で語れない自分を痛く恥じるという貴重な体験であった。



話その二。一九八〇年頃、井波木彫刻工芸高等職業訓練校にかかわるようになった。訓練生の出身県をみると、殆どが県外でそれも全国から。入学動機を聞くと、なかには親の反対を押し切ってきたという学生がおり、胸の熱くなるものを感じた。その頃から井波町では若年人口の減少が指摘されていたので、見知らぬ遠い井波の地に夢を馳せてやつてくるこの若者達に町民や行政がどれほど暖かいまなざしを向けているのだろうかかと、当時の私は町などに近いものを覚えた。

訓練校における初めてのカリキュラム改革など。地域文化における伝統と現代、地域性と国際性、民族性と普遍性、そのいずれもが偏狭な主張に片寄ることなく、真にバランスが取り得る見直しの時代が漸くやってきた。



11月は全国青少年健全育成強調月間です。

主な行事	11月7日	青少年健全育成キャラバン隊の派遣（県下市町村へ）
	11月21日	青少年と環境に関する懇談会の開催（富山県民会館）
	11月28日	青少年育成富山県大会の開催（ボルファートとやま）
		記念講演（講師：児童文学作家 灰谷健次郎氏）
問合せ	県庁女性青少年課	☎0764-44-3138

県からのお知らせ

募集

とやま女性総合センター(仮称)グループ登録募集

来春オープンするとやま女性総合センター(仮称)では、県内の様々な分野で活動しているグループ・団体に関する情報を提供することで、ネットワークづくりや相互交流を支援することとしています。

このため、センターに登録し、情報を提供していただくグループ等を随時募集します。

- みのり豊かな男女協同社会の実現を目指すことを目的とするグループ等で、次の要件を満たすもの
 - (1) 継続的に活動しているもの
 - (2) 特定の宗教及び政治活動、営利活動を目的としないもの
 - (3) 富山県内で活動しているもの
- 応募方法 県庁女性青少年課に申込書を請求のうえ応募
 応募・問合せ 県庁女性青少年課
 〒930-80 富山市新総曲輪1-7
 ☎0764-44-9617

お知らせ

児童扶養手当、特別児童扶養手当制度のお知らせ

◆児童扶養手当支給要件

- ① 次にあてはまる児童(18歳になつてから最初の3月31日までの方、または20歳未満で中度以上の障害のある方)を監護している母、あるいは養育者に支給されます。
 - ② ①父母が離婚した後、父と生計を同じくしていない児童
 - ③ ②父が死亡した児童
 - ④ ③父が障害の状態にある児童
- ※ただし、次のいずれかの場合には支給されません。

500点を展示し、時代の変遷を辿ります。

また、明治30〜40年代に子どもたちのヒーローとなった人形や女の子がよく遊んだ着せ替え人形なども展示します。

展示期間 11月16日(土)〜平成9年1月19日(日)
 展示場所 富山県子どもみらい館ギャラリー
 問合せ 富山県子どもみらい館
 ☎0766-56-9000

第48回人権週間記念講演会開催

12月4日からの人権週間に先立ち、差別のない住みよい社会の実現と正しい人権思想が広く県民の間に普及するたため人権週間記念講演会―講演と映画の集い―を開催します。

- 日時・場所 12月2日(月) 午後1時30分〜午後4時
 黒部国際文化センター(コラール)
- 12月3日(火) 午前9時30分〜12時
 水見水産センター
- 内容 ● 講演 筑波大学教授 菱山謙二氏
 (演題「人権・同和問題の理解のために」)
 ● 人権啓発映画
 黒部会場「愛は海より深く」
 水見会場「花束」

問合せ 県庁県民生活課 ☎0764-44-9646

みなさんの相談窓口

- 県政について 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
 県民相談室 ☎(0764)31-4111(代)
 31-3131(県民相談電話)
 FAX 44-3300(県民サービス課)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
 ☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
 ☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
 ☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
 ☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活について 消費生活センター
 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
 <一般相談> ☎(0764)32-9233
 <金融相談> ☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については 富山県交通事故相談所東別館1階
 ☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番 家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
 ☎(0764)42-0110
- シルバー110番 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
 ☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談 子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
 ☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- テレビ広報 ● チューリップテレビ 毎週土曜日 AM7:00〜7:15
 「ふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00〜9:30
 「112万人のひろば〜クイズ/フォーカス/イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00〜11:30
 「こんにちわ富山県です」
- ラジオ放送 ● FMとやま「ふれあいホットライン」
 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでお届けします。
 毎週月〜金曜日 AM9:50〜9:55
- 新聞広報 ● 北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
 毎月第2、最終土曜日
 「県からのお知らせ」

平成8年12月街頭献血日程

日	曜日	献血場所	時間
1	日	高岡サティ前	10:00~16:00
14	土	富山アピタ前	10:00~16:30
15	日	富山アピタ前	10:00~16:30
		富山西武前	10:00~16:30
22	日	大島町アブリオ	10:00~16:00
24	火	ハイトマト 呉羽東店前	10:00~16:00
29	日	富山アピタ前	10:00~16:00
30	月	富山西武前	10:00~16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。

◎ マリエとやま6階の献血ルームでは、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。
 受付時間 全血献血 10:00~12:30 14:00~18:00
 成分献血 10:00~12:00 14:00~17:30

◎ マリエ献血ルーム(TEL0764-45-4500)
 血液センター(TEL0764-51-5555)

論し、現在の植物園の持つ役割を考えます。(参加無料)

日時 12月1日(日) 午後1時〜午後5時
 場所 富山県中央植物園研修室
 座長 清水建美(金沢大学教授)
 黒川 道(富山県中央植物園園長)
 バネスト 土田勝義(信州大学教授)
 牧 雅之(福岡教育大学助教授)ほか
 問合せ 富山県中央植物園
 ☎0764-66-4187

第17回富山県ウィメンズフェスティバル
 女性スポーツ大会開催
 入場は自由ですので多数の応援参加をお待ちしています。体験コーナーは応援の方も参加できるオープン方式です。

日時 11月24日(日) 午前9時
 場所 小杉町総合体育センター
 競技種目 (1)4人制ソフトバレーボール
 (2)レクリエーション
 (3)体験コーナー(ティールール、ダーツ)
 問合せ 富山県体育指導委員協議会女性委員会事務局
 ☎0765-22-1263

造形発見体験広場「ふれる」開催
 富山県子どもみらい館では、「ふれる・さわる」をテーマに造形発見体験広場を開催します。羊毛を使ったボール作りやパラフィンろうの感触を楽しむクリスマスキャンダル作りなど、プログラムがいろいろあります。

開催期間 11月16日(土)〜12月23日(日)
 午前9時30分〜午後5時
 参加費等 参加費は無料ですが、制作コーナーでは100円〜300円の材料費が必要。
 ◎ 駄菓子屋のおもちゃたち
 明治時代から今日まで駄菓子屋で売られてきたおもちゃ

富山県住みよい家づくり資金融資の申込案内
 県では、住宅を新築、購入又は改良する際に融資を受けることができる、「住みよい家づくり資金」の申し込みを受け付けています。

この制度は、住宅金融公庫の融資を利用する方に低利な資金を併わせ貸しするもので、内容は次のとおりです。

融資金額 1. 一般利率3.75%(適用住宅:老人、障害者、多子、多家族同居住宅等)
 2. 中間利率3.25%(適用住宅:Uターン者等住宅)
 3. 特別利率2.75%(適用住宅:雪に強い住宅、長寿社会対応住宅)

融資金額及び償還期間
 ○ 新築・購入500万円以内(25年以内)
 ○ 改良・中古300万円以内(10年以内)
 ※ いずれも住宅金融公庫借入金金の2分の1以内です。

申込期間 平成9年2月28日(金)まで
 受付場所 住宅金融公庫業務取扱金融機関の窓口
 問合せ 富山県住宅供給公社 ☎0764-32-5131
 県庁建築住宅課 ☎0764-44-3355

地域づくり全国交流会議高岡大会開催
 様々な地域づくり活動に取り組み実践家や地域住民、それらを支援する行政担当者等が、地域活性化をいっそう推進するため情報交換等を行います。

日時・場所 11月21日(木) 午前9時30分〜午後5時
 高岡市民会館
 11月22日(金) 午前9時〜午後3時
 ホテルニューオータニ高岡
 問合せ 地域づくり全国交流会議高岡実行委員会事務局
 ☎0766-20-1224・1226

「いきいきとやま・第9回健康と長寿の祭典」開催
 「笑顔でつくる いきいき人生」をテーマに、21世紀に向けて「日本の健康県」と「いきいきとした長寿社会」を実現することを目的として、「いきいきとやま・第9回健康と長寿の祭典」が開催されます。(参加無料)

日時 11月21日(木)、22日(金) 午前10時〜午後4時
 場所 富山県民会館大ホールほか
 催し 11月21日(木)
 県内高齢者アマチュア音楽家たちによる演奏会・内海桂子氏による記念講演など
 11月22日(金)
 第26回富山県老人クラブ大会・第18回富山県老人

地域づくり全国交流会議高岡大会開催
 様々な地域づくり活動に取り組み実践家や地域住民、それらを支援する行政担当者等が、地域活性化をいっそう推進するため情報交換等を行います。

日時・場所 11月21日(木) 午前9時30分〜午後5時
 高岡市民会館
 11月22日(金) 午前9時〜午後3時
 ホテルニューオータニ高岡
 問合せ 地域づくり全国交流会議高岡実行委員会事務局
 ☎0766-20-1224・1226

とやまの祭事記

十一月



賑やかな場内では、五穀豊穣に感謝して、おにぎりや大豆をすり潰してつくる「ゴウ汁」などがふるまわれ、老若男女の交流の場にもなっている。なお、昭和初期につくられた百六十五キロという記録は未だ破られていない。

今年で百二十六回目を迎えるというこの大会。「磐持」という名は、昔、石を持ち上げて力比べをしていたことに由来する。今も寺塚原神社と蓮徳寺の間にある「磐持場」には、当時使われていた石が残っているという。

賑やかな場内では、五穀豊穣に感謝して、おにぎりや大豆をすり潰してつくる「ゴウ汁」などがふるまわれ、老若男女の交流の場にもなっている。なお、昭和初期につくられた百六十五キロという記録は未だ破られていない。

磐持大会 (新湊市寺塚原)

毎年十一月二十二日になると、新湊市の寺塚原では、青年団員らが米俵を肩に持ち上げて力を競う恒例の「磐持大会」が行われる。

当日の晩、会場となる公民館では、青年団OBらによって新米のコシヒカリが詰め込まれた米俵がつくられる。競技はまず青年団長が重さ六十キロ（四斗入）の俵を持ち上げることに始まり、続いて新入団員から順に俵を持ち上げていく。その後、七十五キロ（五斗入）、九十キロ（六斗入）、百五十キロ（七斗入）、百二十キロ（八斗入）と次第に重くなる。五斗入りの俵を持ち上げて初めて一人前の男として認められると言われていることもあって、皆必死だ。上半身裸で歯を食いしばって持ち上げようとすると、周りから叱咤激励の声飛び交う。思わず、「こやうやって上げるんだ！」と飛び入りで実演するOBたち。その鮮やかな持ち上げ方に習って懸命にがんばる若者たち。会場には熱気が満ち溢れる。

晩秋の冷気を吹きとばす 若者たちの熱気

暮らしの

アドバイス



使った覚えのない 国際電話の請求書

Q 国際電話をかけたとして、高額な請求書がきました。家族に聞いても誰も国際電話などかけていないといいます。何かの間違いなのでしょうか？

A 最近、このような相談が多く寄せられています。そのほとんどは、国際電話とは知らずにアダルト情報番組に電話をかけたというものです。このような番組の電話番号は、成人向けの雑誌などに掲載されていますが、国際電話であることが分かりにくいようになっているようです。「0016-83-XXXXXX」という番号を例にとれば、本来これは「001-638-XXXXXX」と記載すべきもの。この場合、電話番号の最初が「001」となっていることから分かるように、国際電話であり、国際電話料金が請求されることとなります。他にも、電話番号の最初が「0041」「0061」となっているものは全て国際電話なので注意しましょう。

ところで、KDDなどの国際電話サービスを行っている会社がこのようなアダルト情報番組の利用を規制したり、利用者の事前申し込みがあった場合のみ利用できるようにしたりすることはできません。ただ、電話の契約名義人からの申し出があれば、国際電話の取り扱い自体を停止することはできるようになります。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★長寿番組「ピバ！クイズ」での子供たちの珍回答。「朝一番、教室でかわす挨拶は？」「気をつけ！」「みんなから見て、おばあちゃんのお母さんを何と呼ぶ？」「おヨネさん！」。問題を読むお姉さんを抱腹絶倒させたのも頷ける。そんな永井宏子さんが今取り組むのが、子どもの健やかな成長を考える番組「明日の家族」。ピバ！クイズでの経験が大いに生かせる！（K）

★風邪が流行っているようだ。いつも流行に乗り遅れ、周田から風邪の話題が消える頃、凝縮された「濃い」風邪にかかってしまう自分。これから益々寒くなるが、この号が出る頃、やっぱり「濃い」風邪にかかっているのだろうか。皆さん、体調には気をつけましょう。（A）

★県内各地をご訪問になった皇太子同妃両殿下。一目見ようと出かけた方も多いのでは？ 私も国民文化祭オーピングパレードのとき、母と一緒に人混みで溢れた沿道に陣取った。いつの間にか見ず知らずの人と雑談が始まり、「ワイドショーの母」のように、稚子さまについて事細かに語る人も現われた。おかげで二時間の待ち時間は、あっという間に過ぎ去ったのである。（A）

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を抽選で5名の方にワイド六ツ切（25×18センチ）でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。平成8年12月24日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 11月号係あて	930 富山県
氏名	年齢
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	

富山県のさかな決定

本県水産業のイメージアップと魚の消費拡大を図るため、このたび“富山県のさかな”を選定。県のイメージに合うことや知名度が高いことなどをポイントに、次の3種に決定しました。

富山湾の王者 ブリ

11月から1月にかけて漁獲される。

小さいものから順に、「ツバISO（コズクラ）」、「フクラギ」、「ガンド」、「ブリ」と呼び名を変える出世魚。青白く光る背中に銀白色の腹、頭から尾にかけて走る黄色の縞模様、そして精悍な顔つきには、「富山湾の王者」としての風格が漂う。

産卵前の脂がのった「寒ブリ」は特に美味しく、珍重されている。



富山湾の神秘 ホタルイカ

3月から6月にかけて漁獲される。

深海性だが、この時期は産卵のために富山湾沿岸を群遊する。体には多くの発光器を持ち、暗闇で青白く光る様は幻想的。なぜ発光するかについては、威嚇、幻惑、えさ寄せなど様々な説があるが、詳しいことは未だ解明されておらず「富山湾の神秘」となっている。

桜煮や酢味噌あえなど、富山の春の食卓を飾る代表的な味覚である。



富山湾の宝石 シロエビ

4月から11月にかけて漁獲される。

「あいがめ」と呼ばれる富山湾特有の深い海底谷に生息し、富山湾が世界唯一の漁場となっている。生きているものは透明な淡いピンク色でとても美しく、「富山湾の宝石」と呼ぶにふさわしい。

寿司やかきあげとして食され、その味は絶品である。



問合せ 県庁水産漁港課
☎0764(44)3294